

# 高齢者の農福連携<sup>(※1)</sup> 推進を提案する



渡辺 俊彦



町長

地域全体の課題として 推進したい

**質問** 高齢化が進む中、高齢者の農業分野での就労を支援する取り組みとして農福連携の推進を提案する。

**答弁** 町長 高齢者が地域の中で生きがいをもち、積極的に生活することが健康づくりや介護予防につながり、結果的に医療費や介護サービス費を抑え、町全体の活力アップが図れるものと確信している。高齢者を含めた地域全体の課題として、農福連携の推進に取り組んでいきたい。

**質問** 国は障害者と農業の連携を主に考えているようだが、高齢者を含む農福連携を進めてほしい。

**答弁** 町長 野菜栽培など、障害者や高齢者のできる仕事等について、福祉施設との連携が大切と考える。

平成30年度事業計画の進捗状況は

**質問** 高崎・玉村スマートIC周辺地区まちづくり事業の進捗状況は。

**答弁** 町長 高崎・玉村スマートICの北約20ヘクタールの産業団地造成計画については、平成32年度の市街化区域編入に向け、県と協議を行っている。

**質問** 東部工業団地拡張推進事業についてはどうか。

**答弁** 町長 東部工業団地北地区拡張推進事業については、概要計画を作成し群馬県と事前協議を行ったが難しい面があり、現在事業化に向けた作業を休止している。

交通安全の現状と対策は

**質問** 農地間の見通しのよい交差点での交通事故が頻発に発生しているが、現状と安全対策は。



農振地域内の交差点

こんな質問もしています

・小学生の通学路の安全対策について

・子供の貧困問題について

<sup>(※1)</sup>農福連携とは 農業分野において、障害者や高齢者等の就労等を支援する取り組み。雇用創出や生きがいがつくり、地域農業の維持などにつながるとされる。

# 滝川用水沿いに 街灯整備を



石川 眞男



町長

防犯灯の設置は予定していない



街灯設置の要望がある滝川用水沿い遊歩道

**質問** サイクリングロードや遊歩道として利用されている滝川用水沿い南面道路は、夜間利用者が多く街灯設置の要望も強い。街灯を整備すべきだ。

**答弁** 町長 昼間の利用を想定しているため、当初より防犯灯の設置は行っていない。夜間、単独で通行しないなどの注意喚起の情報提供を継続し、当該箇所の安全確保を図りたい。

**質問** 利用者がいるので街灯整備の要望が出る。今後も検討してほしい。

多文化共生社会への対応は

**質問** 政府は、手近な人手不足解消策として、外国人労働者の受け入れ拡大を決断した。安価な労働力として忙しいときだけの外国人受け入れは間違いと考えるが、町の多文化共生社会に向けての姿勢を問う。

**答弁** 町長 11月現在、町内にはヨーロッパ圏、アジア圏、南米等33カ国から994人の外国人が居住している。文化や習慣を理解し合うには、相互・相応で垣根を取り払う姿勢が大切である。

玉村町国際交流協会が行っている日本語教室等年間を通じてのさまざまな活動を支援していきたい。

地域包括支援センター活用し介護離職防止を

**質問** 介護離職は深刻だ。仕事と介護の両立に向け、地域包括支援センター等において、

**答弁** 町長 農振地域等の見通しのよい交差点でも事故が発生している。対策としては交差点などに、「スピード落とせ」「通学路最徐行」「農耕車に注意」などの看板や路面標示を設置したり、一時停止の周囲の路面に赤く強調標示を施し、車の減速や確実な停止を促す対策を行っている。

域包括支援センター等において、両立支援等の情報提供、相談強化に取り組んでいるか。

**答弁** 町長 国では、両立支援策として介護休職、介護休暇等の職場環境改善や休職中の給付金などの整備を進めているが、企業・住民に制度理解が浸透していない。

町に3カ所ある地域包括支援センターで、高齢者の生活全般の相談を受け、必要な制度を説明し対応している。県や町内の介護事業所、ケアマネージャーなど地域の専門職等と連携しながら対応していきたい。

**質問** 町職員が介護離職した場合の再採用の道は検討できないか。

**答弁** 総務課長 今後研究していきたい。

こんな質問もしています  
・発注者にとっても受注者にとっても公契約条例の制定は必要と考えるが